

第三国研修「地熱開発の能力強化フェーズ2」開講式 挨拶（仮訳）

2027年2月17日

JICA コスタリカ

吉田憲

ご列席の皆さま

コスタリカ電力公社（ICE）の皆さま

ボリビア、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ペルーからの参加者の皆さま

本日は、「第三国研修 地熱開発の能力強化コース」開講式にあたり、皆さまをこの美しいコスタリカ・グアナカステの地に心より歓迎申し上げます。本コースは、持続可能な開発と地域協力に対する国際協力機構（JICA）の強いコミットメントを体現するものです。

JICA は長年にわたり、ラテンアメリカ諸国の政府・機関と連携し、開発の鍵となる分野における能力強化に取り組んできました。地熱エネルギーは、クリーンで信頼性が高く持続可能なエネルギー源として、JICA が特に力を入れている分野の一つです。その可能性は、低炭素で電力を生み出す能力だけでなく、エネルギー安全保障の向上や各国の経済成長への貢献にもあります。

本コースは、JICA の三角協力プログラムの一環であり、日本の支援を受けながら、地域内の国々同士で知識や経験を共有する取り組みです。コスタリカ、特に ICE は、地熱開発とその活用において模範的なリーダーシップを発揮しており、その経験と成果は多くの国々にとって手本となっています。本コースが、優れた実践例や技術知識、実施戦略を共有する貴重な機会となることを確信しております。

参加者の皆さまには、この学びの機会に積極的に取り組んでいただくことに感謝申し上げます。皆さまは、それぞれの国において地熱エネ

ルギーの推進に重要な役割を担っており、ここに集われたこと自体が、より持続可能なエネルギーの未来に向けた共通の努力を示すものです。この2週間で得られる知見は、皆さまのプロジェクトや政策に大いに役立つことでしょう。

また、本コースの運営に多大なるご協力をいただいた ICE の皆さまに深く感謝申し上げます。そして、参加者の皆さまの積極的なご参加に、あらためて御礼申し上げます。この研修が学び、経験の共有、そして地域協力強化の場となることを願っております。

皆さまには、この機会を最大限に活用し、協力ネットワークを構築し、地熱エネルギーが持つ開発可能性をさらに探求していただきたいと思っております。

さらに、お願いがあります。本研修の2週間を通じて、帰国後に具体的なアクションプランを策定することを期待します。作成されたプランについては、帰国後、各国の JICA 事務所と議論・共有していただき、プロジェクトの効果的な実施につなげていただきたいと考えています。

皆さまの成功と本コースの実りある成果を心より祈念しております。ありがとうございました。